



オリーブ通信

2023年
1月号
2023.1.14.発行
第250号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

あたらしい仲間(なかま)を紹介します



アウン・ミヨー・ビヤエ
(ミャンマー)



ナミオカ・エドアルド・ヒデオシ
(ブラジル)

今年もよろしく
お願ひします

中川先生のへんてこ日本語

148

私の頭が痛いですから

日本語初級レベルの中国人留学生から、「私の頭が痛いですから、授業を休みます」と、メールが届いた。そしてメールの件名は、「欠勤届申請書」となっていた。件名は、何かを検索して、それをそのまま貼り付けたものと思われるが、それはともかくとして、日本語では、「私は頭が痛いです」、あるいは「頭が痛いです」と、「私」を主語にするか、取り立てて主語を出さない。また「私」がもっとも主語になりやすく、次に「あなた」、3人称・・・と続き、無生物や抽象物は、もっとも主語として立てにくい。

「ネコが私の魚を食べた」という文を受け身にするとうなるか、日本人学生に問うたところ、「私の魚はネコに食べられた」と解答した。文法は間違っていないが、日本語としておかしく座り心地が悪い。「私はネコに魚を食べられた」とするのが、日本語らしい表現である。「雨に降られた」「電車の中で足を踏まれた」なども、私を主語にした被害の受け身で、何も「困った」とか「痛かった」とか言わなくても、その意が汲まれる。

アメリカ人留学生の作文に、「旅が私を疲れさせた」というのがあったが、「旅」のような抽象物は主語になりにくいことは先にも書いた通りである。「何が私ヲソウサセタ」式文は、なんだかバタ〜くさい。あたかも自然の成り行きとして物事を表現し、「私」とのかかわりを示す、それが日本語である。

「彼女の頭が痛い」留学生も、近いうちに「頭が痛くて困っている」ことを「私は頭が痛い」と表現してくれることだろう。それまでは「留学生の日本語はまだ未熟だ」／「留学生はまだ日本語が未熟だ」と思えばよい。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

先生たちのリレーエッセイ

今回は10月から新しい先生としてオリーブに参加して下さっている横山綾香先生です。



運命を変えた高校受験

私は、高校受験に失敗した経験があります。しかし後にこの失敗は、海外や国際交流に対する関心を持つきっかけに繋がったのです。私は、中学生3年生の時に第一志望校に落ち、絶望感に陥りました。そんな時、海外の高校で勉強できるという話を耳にしました。それまで海外とは無縁だった私は、海外留学という新たな選択肢を知り、新たなことがしたい、行ってみたい!という好奇心、かつ、母子家庭という家庭環境で私の進みたい道を全力で応援してくれる母の支援のもと、私は高校留学ができる国際文化コースへの入学を決めました。



私が進学した国際文化コースは、中国人、韓国人、フィリピン人、アメリカ人、オーストラリア人など、世界各国の生徒が在籍していました。教室の中では、多言語が飛び交ったり、外国人の方々と接する機会が多かったりと、国際色豊かな環境に私は毎日心を踊らせていました。そんな充実した高校生活を1年間過ごした後、高校2年生16歳の夏に、アメリカテキサス州に留学しました。



アメリカ留学が初めての海外経験であった私にとって、日本とは異なる風景、文化、言語に触れる毎日は、とても刺激的なものでした。アメリカで生活する中で、アメリカの高校の規模の大きさ、授業の受け方、充実したフィールドワークなど、壮大で自由、かつ個々が尊重されているアメリカのスタイルに魅了されたり、授業以外においても、プロムなどのイベントへの参加、サッカー部への所属、カウボーイ体験などと多くの異文化経験をすることによって、アメリカの文化や多種多様な価値観・考えを学んだりすることもできました。しかしながら、そんな留学生活も



全てがうまく行ったわけではなく、英語がままならないままアメリカに飛び立った私は、語学、文化の壁などに衝突し、友達ができない、ホームシックになる、授業についていけないなど辛い経験も沢山しました。しかし、そんな辛い思い出も今振り返ると、あの時楽しかったな、頑張ってたなと全ての思い出が素晴らしい思い出として残っているのです。そのように思えるのも、辛い時、嬉しい時、どんな時も、一生懸命私の話を理解してくれ、地域の一員として私に接してくれた家族、友達、先生など、大勢の人々の支えがあったからなのです。



アメリカ留学時の様子



この留学経験以降、アメリカで多くの方々に助けてもらったからこそ、海外から日本を訪れる方々を何らかの形でサポートしたい、人々の支えで私自身アメリカが大好きになったように、外国人の方々にも日本に来てよかったなと思ってもらえるような支援がしたいと思いました。そして、大学に入学し、東京



オリンピックのボランティア、国際交流ボランティアに参加し、世界各国から訪れる方々をサポートしたり、留学生をサポートする活動に所属し、日常生活の支援はもちろんのこと日本文化と一緒に体験するなど日本の思い出を一緒に作ったりしました。それらの活動を通じて多くの方々から、日本に来てよかった!ありがとう!と笑顔で言われたこと、また日本を好きになってくれたことがとても嬉しくやりがいを感じ、外国人の方々をもっと支援できたらな、私自身日本と海外をつなぐきっかけになれたらなと思いました。そう考えた私は、卒業後、外国人の方々を支援する、日本と海外を繋ぐ仕事がしたいと考え、日常的に外国人の方々を支援する仕事である、技能実習生をサポートする組合で働くことに決めました。書類作成や実習生対応など、初めて行うことが多く日々慣れないことも多々ありますが、実習制度を学んだり、実習生から日々話を聞く上で、日本生活を充実させている実習生を見られたりすることがとても嬉しく、実習生や企業様のおかげで私は毎日楽しく働くことができます。そして、休みの日にも新たなボランティアに参加したいと考えていた時に、オーリーブを見つけました。初めは、大学で日本語教授法を少し学んだだけで、本格的に日本語教授について勉強したことがなかったため不安でしたが、生徒さんと日本語と一緒に勉強し生徒さんが理解する姿を見ることがや、私自身生徒さんと一緒に学ぶことがとても嬉しく、毎週土曜日日本語を教えることをとても楽しみにしています。



国際交流ボランティア



このように、これまでの経験を振り返ってみると、高校受験失敗が、私のターニングポイントであり、この失敗によって、外国人の方々と接することへの関心、何事も恐れず突き進む挑戦力、固定観念に囚われずあらゆる視点から物事を見渡す力、どんな状況下においても前向きに捉えることができる思考力を持つことができたのです。これらの過程で得られたものは、人生の財産であると同時に、今後もこれまでの人生で培ってきた経験やスキルを最大限に活かし、新たなことへの挑戦、また自分自身を高めていきたいと考えています。これからも生徒さんの日本語力向上に向けて、自分自身の日本語教授のスキルを更に高めると共に、新たな言語を学び勉強することで、その国の文化、考え方や習慣などをもっと深く理解できるようになりたいです。今後も、外国人の方々が、日本で楽しく充実した生活を送ることができるよう、私自身でできることを全力で全うしていきたいです。



今後ともよろしく
お願いいたします!
横山 綾香





先月の活動（12月）

日本語教室 12/3, 10, 17(M), 24(M) (4回)
 12/17(土) 公益財団法人 滋賀県国際協会2022年度
 次世代人材育成事業「多文化共生×SDGs×
 開発教育」連続セミナー 発表会 (中川)



今月の活動予定（1月）

日本語教室 1/7, 14(M), 28(M) (3回)
 1/8(日) BNN 第二回運営委員会 (田中)
 1/14(土) BNN 日本語スピーチ大会申込み締切

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数（12月）

	12/3	12/10	12/17	12/24
学習者	31	20	23	26
先生	26	19	24	22



会員の動き

〈入会〉 速水 和歌子
 横山 将大

あたらしい先生を紹介します！



速水 和歌子 先生

趣味で中国語を勉強する内に日本語教育に興味を持ち、こちらに入会させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。



横山 将大 先生

日本語指導の経験は全くありませんが、外国の方との交流に興味があり入会させていただくことになりました！ よろしくよろしくお願いいたします。



さまざまな NGO、企業・機関、ボランティアが集まって展示やイベント、物品販売を行うワンワールド・フェスティバル。今回は第30回のメモリアルイベントとしてリアルとオンラインのハイブリッド開催です！

リアル：2月4日(土)・5日(日)

10時～17時

ライブ配信：2月4日(土)・5日(日)

11時～17時

Web：2月1日(水)～2月28日(火)

【開催場所】

- 1) 北区民センター
(大阪市北区扇町 2-1-27)
- 2) 扇町公園
- 3) カンテレ扇町スクエア 1階アトリウム
- 4) 山西福祉記念館・ホール他
(大阪市北区神山町 11-12)

<https://onefes.net/>

〈編集後記〉タイで日本語通訳をしている友人曰く「年初で日本から社内の偉い人が来て現地法人でスピーチをするけれど、景気が悪くて撤退するかどうか今年が正念場だ！みたいな話ばかりで聞いている人たちの元気がなくなっていく。日本基準で話さないで欲しい」。全世界で景気が悪いように報道されているけれど東南アジアでは人々が動き出したので経済が回り始め、新たに進出したり事業拡大したりビジネスに活気が出てきました。日本相手に商売しているところだけがヤバイ。悲観するより日本もばんばん東南アジアに製品を売り込んで元気になって欲しいなあ。